

## 教員未配置を解消するための船橋市の抜本的な対策を求める陳情

### <陳情趣旨>

県に対し年度初めから定数内欠員を県の責任で無くすことを強く要請すると共に、船橋市独自でも早急な教員の数の確保のための対策を講じることを求めます。

### <陳情の理由>

ここ数年にわたり、千葉県では法律に定められた教員が配置されず、小学校では担任の先生の配置に支障が出るという異常事態が起こっています。千葉県の教職員の未配置は改善されるどころか、年々増え続け、2023年の3月1日時点では445人もの教職員が未配置という過去最悪の状況です。2022年度には1つの小学校で同時期に3人未配置、ある特別支援学校では同時期に6人が未配置というケースや同時期に3人未配置の小学校では音楽専科による音楽の授業ができなくなり、高学年の算数の少人数授業もできなくなったという事例や、中学校の事例では、国語の先生が足りなくなり、週に1時間自習になってしまったという事も聞きます。

今年度の始業式時点でも、新年度のスタートにも拘わらず、210人が未配置、そのうち120人が定数内欠員という、あってはならない状況です。未配置の数は10月には369人に増え、過去最悪を上回るペースで増え続けています。未配置の学校では先生方への負担が一層過重になり、何よりも丁寧な教育が受けられなくなる子どもたちが最大の被害者となります。

今、小中学校の不登校やいじめの件数が過去最悪の数字を更新しています。きめ細かく、丁寧な支援が必要な子どもが増えている中で、いるべき先生がいないままでは必要な対策を講じることはできません。いじめや不登校を減らすためにも未配置を無くし、教職員を増やすことが急務です。

### <陳情項目>

- ・年度初めからの定数内欠員を無くすよう県にはたらきかける事
- ・市独自でも早急に人材を確保し教員配置定数が満たされるよう教員不足の抜本的な改善に取り組む事